

# 賢く



# 燃やす

アメリカ合衆国環境保護庁のプログラム

適切な木材燃焼装置を用いて、適切な方法で、適切な木材を燃やしましょう



## ご存知でしたか？

木材を燃やす方法を変えることで、貯蓄もできて、空気汚染を抑制し、健康も守られるということ。

炎の燃焼温度をより高くし、お財布を厚くし、身の回りの空気をよりきれいに健全に保ついくつかのコツをご紹介します。

**全ての薪を乾燥させる。**すべての薪は割って、覆いかぶせて安全に保管し、最低でも6カ月間乾燥させてください。乾燥した木材はより高温で燃焼し、燃料の消費も抑えられ、装置から排出される煙の量も減少させます。

**適切な木材を選択する。**硬材が最適な木材です。空気汚染有害物質を放出するので、廃棄木材や処理済み木材を決して燃やさないでください。

**正しく点火する。**きれいな新聞紙または乾燥した着火材を用いて点火してください。ガソリン、軽油、チャコールスターターまたはプロパンガスバーナーを決して使用しないでください。

**炎をくすぶった状態にしない。**多くの人が、炎を夜通しくすぶった状態で燃焼させなければならないと考えています。しかし、空気の供給を減少させることは、暖房にほとんど影響せず空気汚染を促進させてしまいます。

**木材燃焼装置から灰を除去する。**灰の量が過剰になると、吸気を阻害し効率を下げます。灰の廃棄は、家屋から離れた場所の金属製の入れ物を利用するか、または不燃性のものを利用して火事の危険を減らしてください。

**煙突を清掃された状態に保つ。**清掃された煙突は、木材燃焼装置に適切な通風を供給し、また煙突を出火元とする火事の危険を減らします。資格を持った専門家による煙突の検査を年に1回実施してください。

**良き隣人でありましょう。**木材を燃やすベストプラクティスに従いましょう。州や地域の条例や大気環境予測に従うことを常に覚えておいてください。

**説明に従う。**製造元の説明に従って木材燃焼装置を使用し、すべてのメンテナンス手順に従ってください。

**より快適な環境を整える。**EPA認可の薪ストーブおよびインサート暖炉は、よりきれいに効率よく木材を燃焼させ、旧モデルのものよりも汚染粒子の排出量が少なくなっています。

**大きさに注意する。**希望にあった大きさの装置を選択してください。木材燃焼装置が部屋や家屋に対して大きすぎる場合、燃料はくすぶってしまい、空気汚染を進行させてしまいます。



より賢く燃やすための詳細情報は次のページを参照してください。 [www.epa.gov/burnwise](http://www.epa.gov/burnwise)

EPA-456/F-09-004